

たより

〒037-0305
青森県北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8
【仮庁舎 令和3年3月まで】
〒037-0202
青森県五所川原市金木町芦野200-498
TEL : 0173-53-3848 FAX : 0173-54-2102
E-mail : t_gijyutu_c@maff.go.jp

取り組みの一部を紹介～ユリノキについて～

現在、森林資源の循環利用や林業の成長産業化へ向け、成長が優れている早生樹に注目が集まっており、東北地方ではユリノキを対象とした試験研究がはじまりつつあります。今回はユリノキの特徴や当センターで行っている植栽試験について紹介します。



上：樹形、下：葉の形



はじめに、ユリノキは学問上の名前ですが、地域によって様々な呼び名があります。原産地の北米ではチューリップツリー、サドルツリーなどと呼ばれ、明治初期に導入された日本でも、ハンテンボク、エンピツノキなどと呼ばれています。これらの呼び名は、葉や花、幹の通直性を上手く表現しています（写真から呼び名を想像してみてください）。このように、様々な呼び名があるということは、私たちの生活に身近な存在であることを表しています。実際、ユリノキは公園木や街路樹として植栽されており、耐寒性が優れるために東北地方でも見かけることができます。（裏面へ続く）



ユリノキの花②（青森県青森市 6月17日撮影）

しかし、林地で植栽されている事例は少ない状況にあることから、当センターでは、ユリノキが東北地方の林地に適性があるか検証するため、秋田県と岩手県に試験地を設定し調査をしています。令和元年度までの結果から、植栽木の一部で積雪による折れや変形が確認されていますが、全体的に成長は良好に推移しており、多雪寒冷な気候の林地に適性があることが示唆されました。

また、ユリノキは萌芽更新による本数密度の増加が報告されており、天然力の活用により再生林の低コスト化が期待されます。ただ、ユリノキは北米産の外来樹種であるため、植栽地周辺の林地へ侵入した場合、在来種を抑え優先する可能性が指摘されており、実用化にあたり環境へ与える影響を評価する必要があります。このことから、ユリノキが持つ天然更新の特性を明らかにするため、今年度から萌芽枝の生育特性や種子の飛散距離などを調査しています。

最後になりますが、すでにユリノキの花が開花中です。街路樹に注目すると、みなさんの身近でも可愛らしい花を観察できるかもしれません。特徴的な葉を頼りに、ぜひ探してみてください。（青山）



3成長期経過の萌芽状況
(青森県産業技術センター林業研究所)



ユリノキの花②（青森県青森市 6月17日撮影）

◆お世話になります◆ 令和2年4月1日付け人事異動

- ・副所長 柏崎 清文（三八上北森林管理署 総括森林整備官）
- ・企画係長 葛西 伸彦（津軽白神森林生態系保全センター 専門官）

編集後記

今年度から「センターたより」を担当します葛西と申します。不慣れな紙面作りのため読みにくい部分があるかと思いますが、より良い紙面を作れるように心がけていきますので、どうぞよろしくお願い致します。次号は当センターで取り組んでいる技術開発課題の現地調査が始まりましたので、その調査風景や「さえずり」など掲載する予定です。

